

第3章 まち歩き点検による区民意見

1. まち歩き点検の概要

利用者の視点で、バリアフリー*に関する問題点や課題を把握するため、高齢者、障害者等の区民を中心としたメンバーによる「まち歩き点検」を下表のとおり実施した。

各重点整備地区において、現地を歩いて、駅や駅周辺の道路、施設を対象に点検を行い、点検後、問題点や改善点等について意見交換を行った。

対象地区	日時・会場	参加者	
①新中野地区	7月8日(火) 9:00~12:00 鍋横区民活動センター	聴覚障害者2名 視覚障害者1名 知的障害者の家族1名	計4名
	7月15日(火) 9:00~12:00 中部すこやか福祉センター	聴覚障害者3名 視覚障害者1名 精神障害者2名 知的障害者の家族1名	計7名
②中野地区	6月30日(月) 9:00~12:00 中野区役所	聴覚障害者2名 視覚障害者2名 知的障害者の家族1名 大学生3名	計8名
	7月1日(火) 9:00~12:00 中野区役所	聴覚障害者5名 視覚障害者1名 車椅子使用者1名	計7名
	7月2日(水) 9:00~12:00 中野区役所	聴覚障害者2名 視覚障害者1名 知的障害者の家族2名 車椅子使用者2名 大学生2名	計9名
③東中野・落合地区	7月15日(火)14:00~17:00 東中野区民活動センター	高齢者5名 聴覚障害者2名 視覚障害者2名 知的障害者の家族1名 車椅子使用者:2名	計12名
④新井薬師前地区	6月26日(木)13:00~16:00 上高田区民活動センター	聴覚障害者5名 視覚障害者2名 知的障害者の家族4名	計11名
⑤沼袋地区	6月27日(金) 9:00~12:00 沼袋区民活動センター	聴覚障害者2名 視覚障害者3名 知的障害者の家族2名	計7名
⑥野方地区	7月9日(水) 9:00~12:00 野方区民活動センター	聴覚障害者4名 視覚障害者1名 知的障害者の家族1名 区民1名	計7名
⑦鷺宮地区	7月10日(木)13:00~16:00 鷺宮区民活動センター	聴覚障害者5名 視覚障害者2名 知的障害者の家族1名	計8名

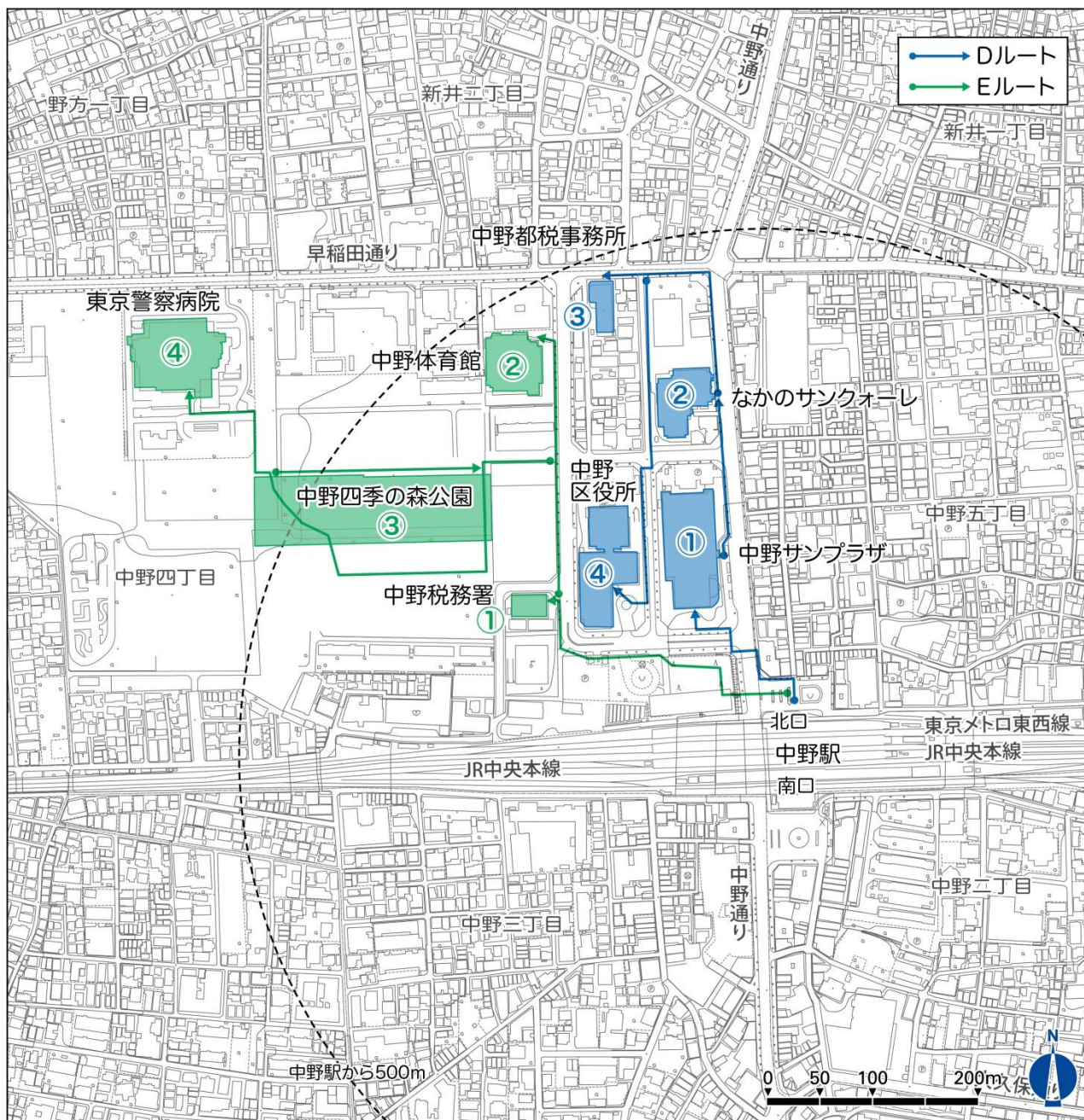
① 新中野地区のまち歩きルート



【新中野地区の主な意見】

公共交通	鉄道駅	<ul style="list-style-type: none"> ホームドアが設置され安全になった。 片麻痺のため、階段の中間にも手すりを設置してほしい。
道路等	道路	<ul style="list-style-type: none"> 青梅街道の歩道は、看板や駐輪があり、歩きにくい。 青梅街道の歩道は、自転車がスピードを出して走っているため、怖い思いをすることがある。ルールとマナーの徹底が必要だと思う。
	信号機等	<ul style="list-style-type: none"> 杉山公園の交差点の信号機は音響が付いていない方向がある。全ての方向に音響を付けてほしい。 三徳前の横断歩道は歩行者の青時間が短く不便している。青延長用押しボタンを付けてほしい。 鍋横の交差点に音響式信号機*を設置してほしい。
建築物		<ul style="list-style-type: none"> 区民活動センターの入口に誘導チャイムがあるが、音が出ていない。 視覚障害者誘導用ブロック*の上にマットが敷かれていた。

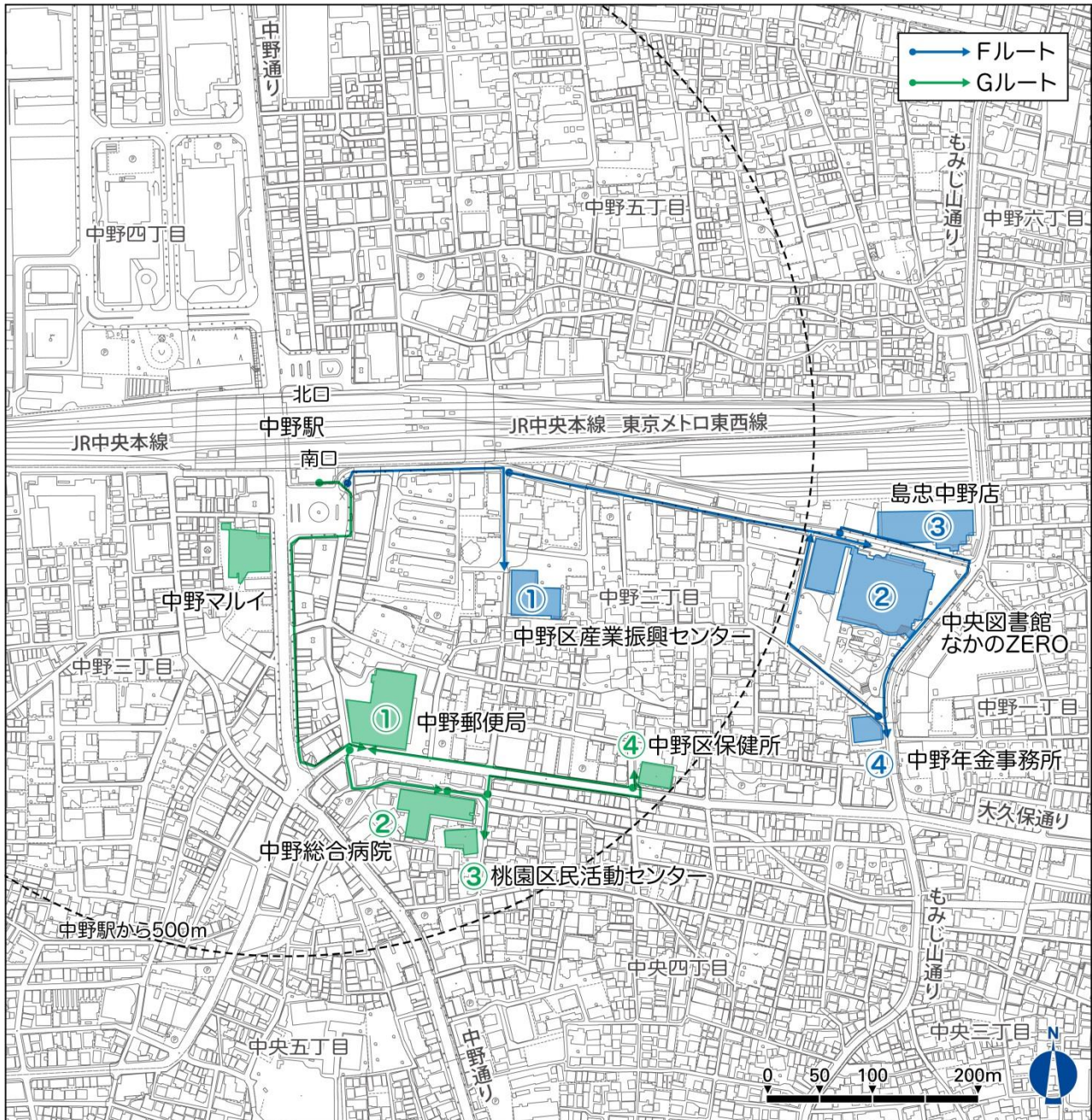
② 中野地区のまち歩きルート（その2）



【中野地区（その2）の主な意見】

道路等	道路	・区役所周辺は公共施設が多くあるが、視覚障害者誘導用ブロック*が少ない。駅から公共施設へ至る道路には、視覚障害者誘導用ブロックを連続的に設置してほしい。
	信号機等	・税務署前の横断歩道は信号機がなく危険に感じる。
公園		・多機能トイレ*に大型のベッドが設置されている。
建築物		<ul style="list-style-type: none"> ・中野税務署には多機能トイレがない。また、エレベーターもない。 ・体育館の車椅子用スロープの案内表示がわかりにくい。 ・東京警察病院の金属製の視覚障害者誘導用ブロックは目立たない。 ・窓口や受付に耳マークを設置してほしい。 ・エレベーターは、内部から外部、外部から内部がわかるように、ドアにガラス窓を設けてほしい。 ・トイレの洗浄ボタンの形や配置が統一されていない。視覚障害者はボタンを探すのに苦労する。点字を付けてほしい。

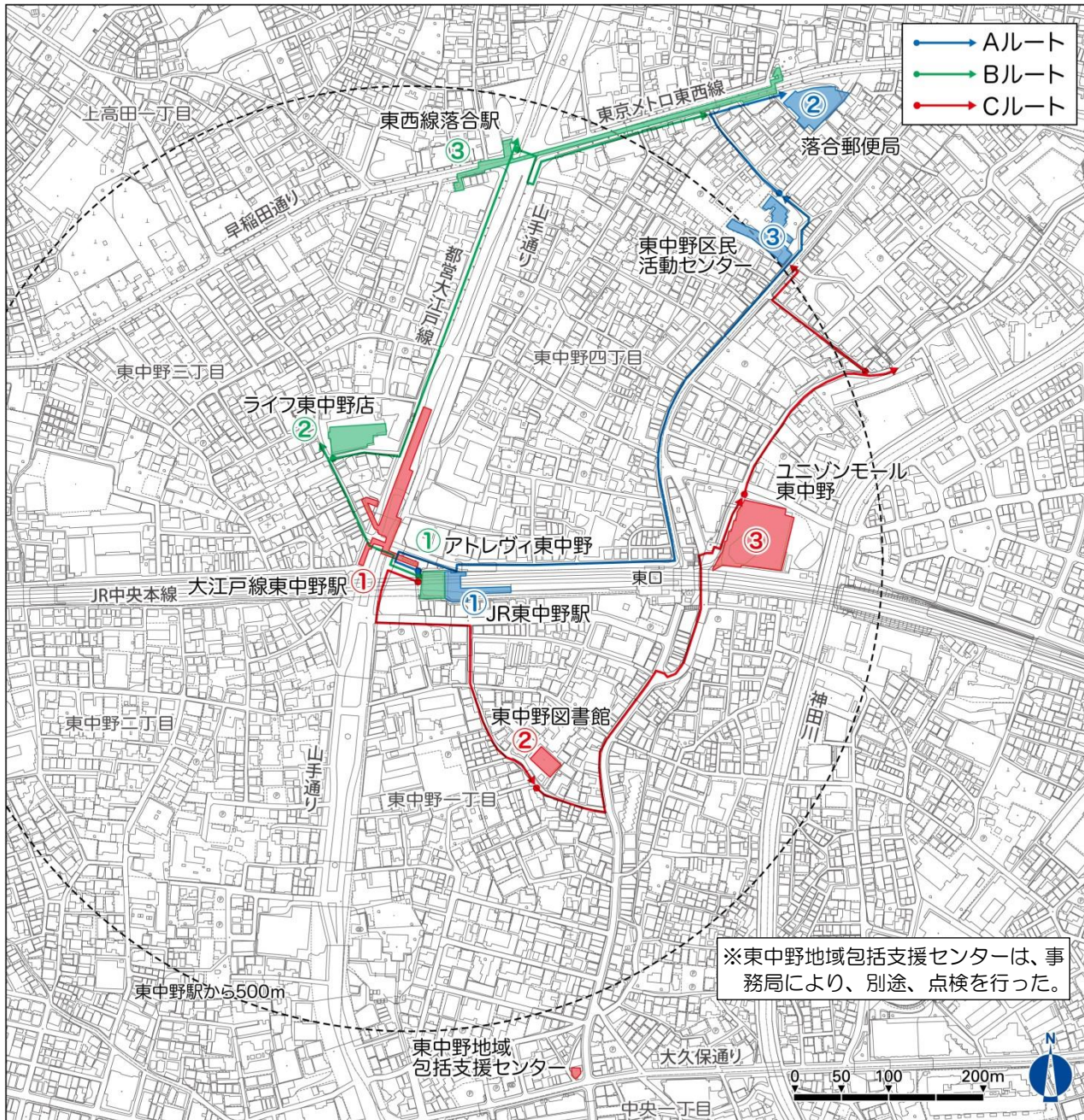
② 中野地区のまち歩きルート（その3）



【中野地区（その3）の主な意見】

公共交通	鉄道駅	<ul style="list-style-type: none"> 中野駅にはエレベーターがないので、大学の通学には高円寺駅を利用している。
道路等	道路	<ul style="list-style-type: none"> 南口駅前広場の外周部、中野通り、大久保通りに視覚障害者誘導用ブロック*を設置してほしい。 大久保通りの歩道が狭く、介助者と並んで歩けない。
	信号機等	<ul style="list-style-type: none"> 南口にある音響式信号機*は朝8時から夜9時までしか音が出ない。音響用押しボタンを付け音が出せるようにしてほしい。
建築物		<ul style="list-style-type: none"> 区民活動センターの入口に誘導チャイムがあるが、音が出ていない。 中野総合病院と保健所の多機能トイレ*は狭く、電動車椅子で利用するのは難しい。 島忠の車椅子用トイレの引き戸が重くなかなか開けられなかった。 エレベーター内にカメラやモニター等を設置し、聴覚障害者が外部と連絡を取れるようにしてほしい。

③ 東中野・落合地区のまち歩きルート



※東中野地域包括支援センターは、事務局により、別途、点検を行った。

【東中野・落合地区の主な意見】

公共交通	鉄道駅	<ul style="list-style-type: none"> ・JR東中野駅は、「筆談します」の文字が小さくて見えにくい。また、多機能トイレ*の点字が摩耗していた。 ・大江戸線東中野駅のホームへ下りるエレベーターの乗り場が狭く、いつも電動車椅子の転回に苦労している。 ・落合駅の2A出入口の誘導チャイムが鳴っていなかった。
道路等	道路	<ul style="list-style-type: none"> ・山手通りの歩道は、歩行者と自転車の通行帯が舗装の色で区分されていて、歩きやすい。 ・区民活動センターまでの歩道は切り下げで斜めになっていて、車椅子の通行が難しい。また、はみ出した看板で通れない箇所がある。
建築物		<ul style="list-style-type: none"> ・区民活動センターの入口に誘導チャイムがあるが、音が出ていない。 ・区民活動センターは、道路から会議室まで、車椅子で行きにくい。 ・郵便局は出入口からATMまで視覚障害者誘導用ブロック*が設置されているが、机等が邪魔になっていた。

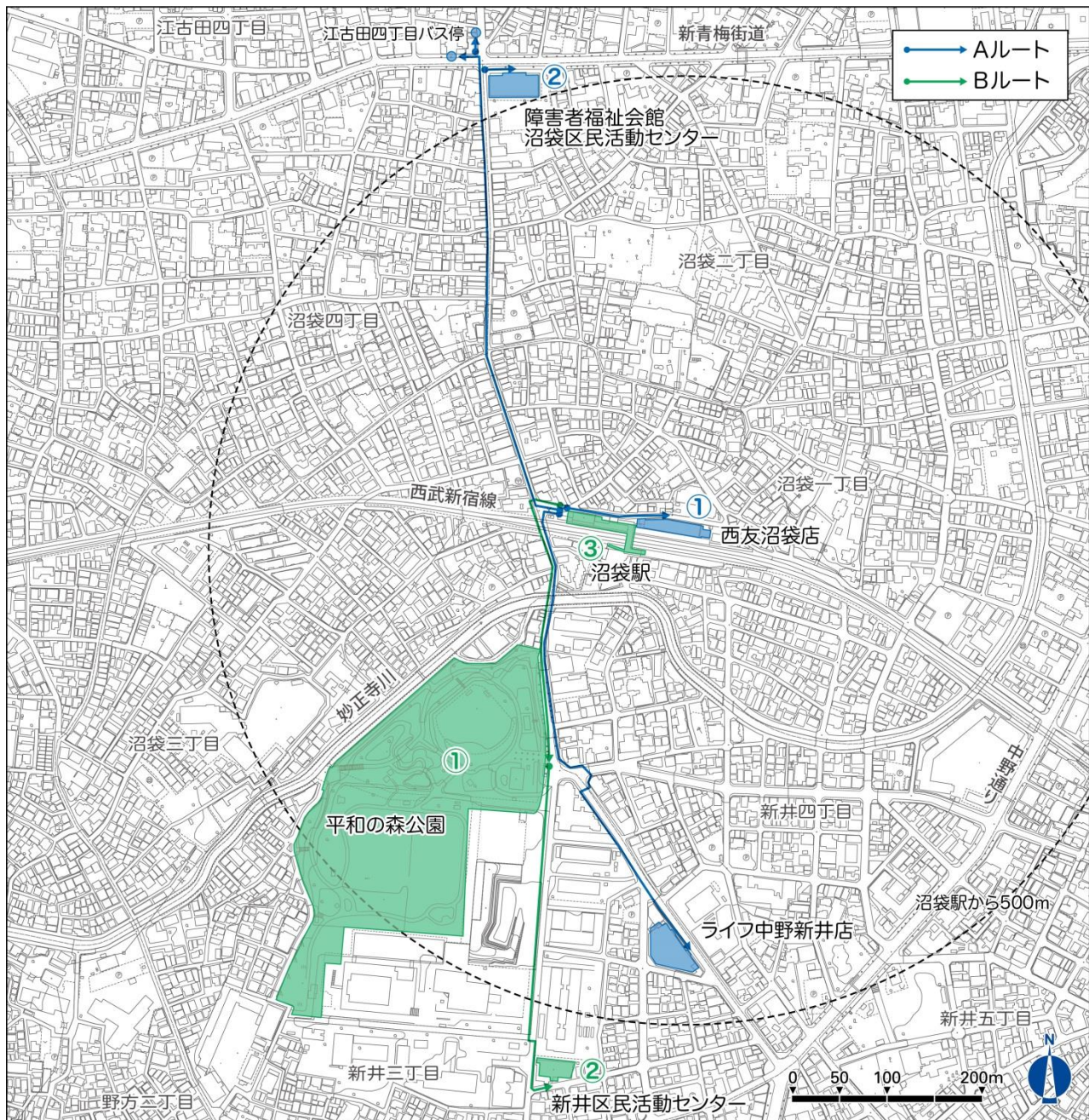
④ 新井薬師前地区のまち歩きルート



【新井薬師前地区の主な意見】

公共交通	鉄道駅	<ul style="list-style-type: none"> ホームと車両との隙間が大きいので、ホームドアを設置してほしい。 「筆談できます」という表示があるが、文字が小さく、わかりづらい。
	バス	<ul style="list-style-type: none"> バス停留所に点状ブロックが設置されているが、わかりづらい。
道路等	道路	<ul style="list-style-type: none"> 駅の北側はバスも通るが、白線しかなく、車や自転車に注意しながら歩かないとならない。 駅の南側は歩道が付いている道路があるが、勾配が激しく、また、自転車や看板等が置かれていて、歩きにくい。 区民活動センターへの案内板の文字が小さい。
	信号機等	<ul style="list-style-type: none"> 歩行者用信号機には音響機能を付けてほしい。
建築物		<ul style="list-style-type: none"> 図書館の入口に誘導チャイムがあるが、音が出ていない。 区民活動センターの入口に誘導チャイムがあるが、音が出ていない。また、ロビーから階段へ転落しそうな構造になっている。

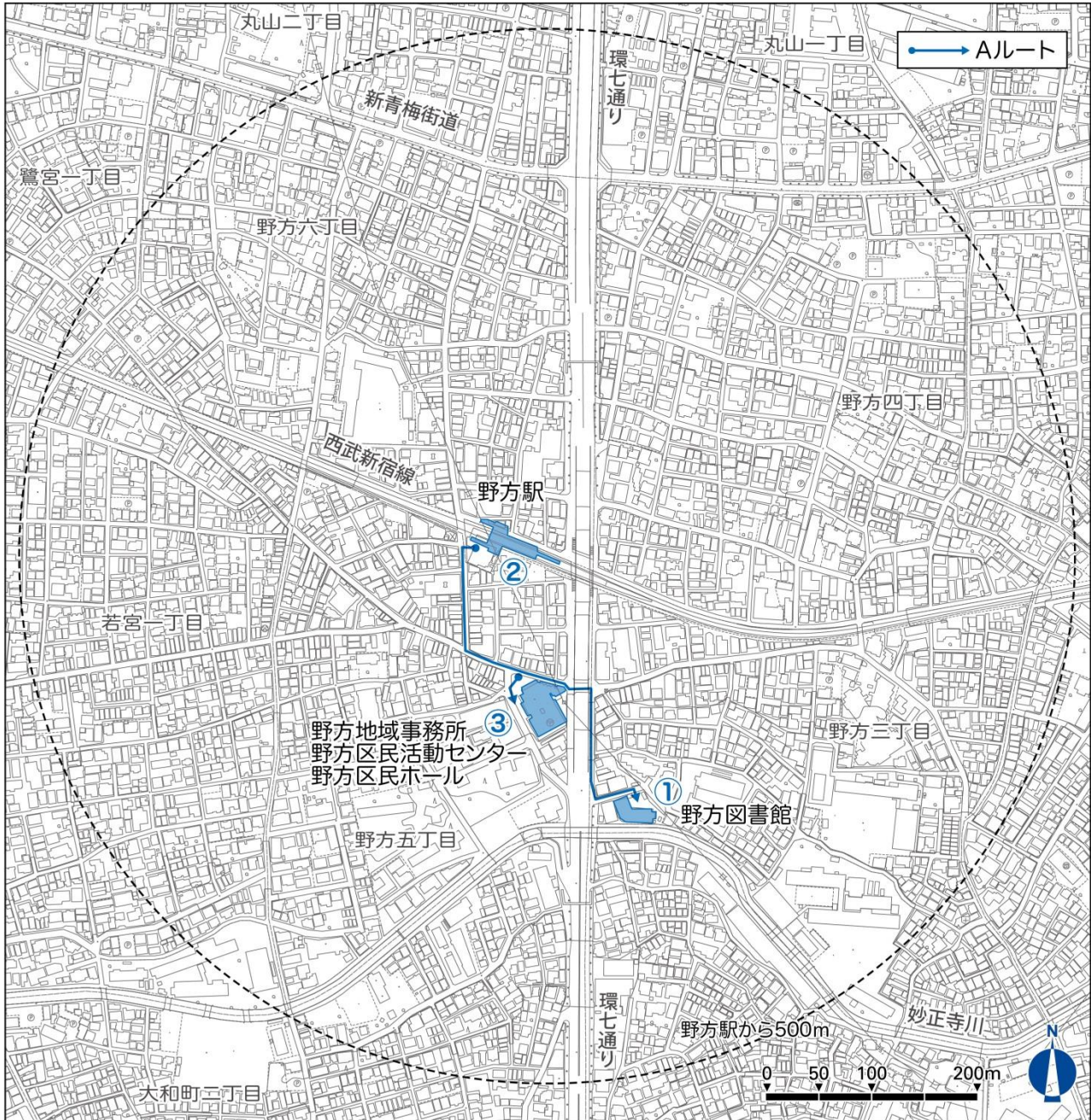
⑤ 沼袋地区のまち歩きルート



【沼袋地区の主な意見】

公共交通	鉄道駅	・以前から駅員がとても親切である。
道路等	道路	・駅の北側は歩道がないが、車も多く、駐輪もあり、歩きにくい。 ・駅の南側の橋の上の歩道に車止めがあるが、低いため、視覚障害者がつまずくおそれがある。 ・区民活動センター前の横断歩道に視覚障害者誘導用ブロック*がない。
	信号機等	・音響式信号機*が1箇所しかない。
公園		・トイレの位置がわかりにくい。
建築物		・福祉会館の駅に近い方の出入口に誘導チャイムを付けてほしい。 ・区民活動センターは道路から入口までの視覚障害者誘導用ブロックがあるが、その上に自転車が停められていた。 ・西友にはエレベーターがなく、車椅子使用者は2階へ行けない。 ・ライフはレジで聴覚障害者に対し商品や値段を読み上げてくれる。

⑥ 野方地区のまち歩きルート



【野方地区の主な意見】

公共交通	鉄道駅	<ul style="list-style-type: none"> 島式のホームは視覚障害者にとって歩きにくい。ホームドアを設置してほしい。 トイレの音声案内が聞き取りにくい。 改札のある階にベンチを設置してほしい。
道路等	道路	<ul style="list-style-type: none"> 駅から区民活動センターまでの道路は、車や自転車がが多く危ない。
	信号機等	<ul style="list-style-type: none"> 環七に架かる橋の前後は信号機がなく危険に感じる。
建築物		<ul style="list-style-type: none"> 図書館も区民活動センターも誘導チャイムが鳴っていない。 図書館の1階は受付等がないので、視覚障害者誘導用ブロック*をエレベーターまで設置してほしい。 区民活動センターの多機能トイレ*の引き戸が重い。自動ドアにしてほしい。 区民活動センターの道路から出入口までの視覚障害者誘導用ブロックの誘導がわかりにくい。ロープに遮られていた。

⑦ 鷺宮地区のまち歩きルート



【鷺宮地区の主な意見】

公共交通	鉄道駅	<ul style="list-style-type: none"> ・タッチパネル式の券売機は視覚障害者にとって使いにくい。 ・北口の視覚障害者誘導用ブロック*がはがれていた。 ・南口にエレベーターを設置してほしい。
道路等	道路	<ul style="list-style-type: none"> ・南口を示す視覚障害者誘導用ブロックがない。 ・駅の北側は、放置自転車がが多く歩きにくい。 ・中杉通りの南側は、歩道が狭く、車椅子は通行しにくい。
建築物		<ul style="list-style-type: none"> ・体育館の出入口に誘導チャイムを設置してほしい。 ・体育館の視覚障害者誘導用ブロックの上に絨毯が敷かれていた。 ・福祉センターの道路から出入口までの舗装が凸凹している。 ・区民活動センターの入口に誘導チャイムがあるが、音が出ていない。 ・区民活動センターの階段が急すぎる。 ・窓口や受付に耳マークを設置してほしい。 ・筆談だけでなく、手話も使えるようにしてほしい。

2. まち歩き点検による意見^{*}のまとめ

^{*}意見には、平成25年度に実施したアンケート・ヒアリング調査も反映している。

(1) 公共交通

① 鉄道駅

【昇降設備】

- ・駅の改修によりエレベーターが設置され、車椅子利用者でも駅を利用しやすくなった。(車椅子利用者)
- ・エレベーターがない駅は車椅子利用者にとって利用しづらい。そのため、普段はエレベーターのある隣の駅を利用している。(車椅子利用者)
- ・踏切により南北に分断されている駅など、離れた位置に複数の出入口がある駅では、それぞれの出入口にエレベーターを設置してほしい。
- ・エスカレーターが一方方向の場合、上り方向が多いが、高齢者は階段の下りが困難であったり不安を感じたりするので、下り方向のエスカレーターも設置してほしい。(高齢者)

【階段】

- ・左手(右手)が不自由な場合、階段が左側(右側)通行だと、無理な体勢で手すりにつかまることになるので、階段の間にも手すりを設置してほしい。(片麻痺の障害者)

【券売機】

- ・車椅子利用者が券売機に接近できるように、券売機の下部に蹴込みを設けてほしい。(車椅子利用者)
- ・視覚障害者がタッチパネル式の券売機を利用するときはテンキーを使うが、その場合、連絡切符や回数券を購入できない。タッチパネル式以外の券売機も設置するなど、改善してほしい。(視覚障害者)



【券売機の蹴込み】

【改札口】

- ・双方方向の自動改札機は、視覚障害者にとって、反対方向から来る人がわからず、利用しづらい。また、視覚障害者はICカード専用かそうでないかの区別がしづらいので、切符が使える入口専用・出口専用の自動改札機を設けてほしい。(視覚障害者)

【ホーム】

- ・ホームの列車が停車しない部分や線路側以外の端部に転落防止柵を設置してほしい。(視覚障害者)

- ・視覚障害者のホームからの転落や列車の接近に気づかない聴覚障害者の列車との接触を防ぐため、ホームドアやホーム柵*を設置してほしい。特に、視覚障害者にとって、幅の狭いホームや島式のホームは転落に対する不安感が大きいので、そういった駅に優先して設置してほしい。(視覚障害者、聴覚障害者)
- ・ホーム端部の視覚障害者誘導用ブロック*の上や近くに柱があり、視覚障害者誘導用ブロックに沿って歩いていると柱にぶつかることがある。視覚障害者誘導用ブロックは、柱に干渉しないように敷設するか、柱の角を丸くしたり、クッションを付けるなど、ぶつかっても怪我をしないような配慮をしてほしい。(視覚障害者)

【トイレ】

- ・トイレの洗浄ボタンや呼出しボタンは、視覚障害者が区別できるように、点字を付けてほしい。(視覚障害者)

【休憩設備】

- ・高齢者、障害者等は疲れやすかったり、体調が急に悪くなったりする人がいるので、通路やホーム上などスペースの余裕があるところにできるだけベンチを設置してほしい。
- ・服薬の影響により急に具合が悪くなる場合があるので、席ごとの仕切りがない横になれるベンチを設置してほしい。(精神障害者)

【誘導・案内】

- ・電光掲示板の表示情報により、聴覚障害者も列車の行き先や種別、運休や遅延などの運行情報を得ることができる。どこにいても情報が得られるように、改札口付近やホーム上など、複数の場所に電光掲示板を設置してほしい。(聴覚障害者)
- ・改札口やトイレの出入口などにチャイムや音声案内が設置されているが、聞き取りにくい場合がある。音量や音の出る間隔など適切に調整してほしい。(視覚障害者)
- ・筆談の対応ができるという表示があっても見えにくい駅があった。聴覚障害者から手の届く位置に、大きな文字で、見やすく表示してほしい。(聴覚障害者)
- ・聴覚障害者には、筆談による会話が苦手な人もいるので、手話での対応もできるようにしてほしい。(聴覚障害者)

② バス

- ・バス停留所には屋根やベンチを設置してほしい。
- ・バスが停留所から離れて停車しているのをよく見る。車椅子やベビーカーがスロープ板でバスに乗降できるように、停留所と車両との隙間を空けないように停車させてほしい。(車椅子使用者、ベビーカー使用者)
- ・バスターミナルにあるバス案内板の位置がわかりにくい。駅から降りてくる人がわかるように位置や表示を工夫してほしい。

- ・バスターミナルのバス停留所には、停留所の位置を知らせたりバスの行き先等を案内したりする音声案内を付けてほしい。(視覚障害者)
- ・バスに乗車する際に「どちらまで」と聞いてくれる運転手もいて、安心できる。(視覚障害者)

(2) 道路等

① 道路

【歩道】

- ・視覚障害者や歩行が困難な人が介助者と並んで歩くには、幅員の狭い歩道がある。(視覚障害者、歩行困難者)
- ・歩道のすりつけ勾配が急な箇所がある。(高齢者、車椅子使用者、ベビーカー使用者)
- ・歩道の車乗り入れ部など車道側に向かって傾斜している箇所があり、車椅子やベビーカーが通行しづらい。(車椅子使用者、ベビーカー使用者)
- ・樹木の根上がりで歩道の舗装が凸凹している箇所がある。(視覚障害者)
- ・歩道のレンガ舗装は目地により凸凹していると、視覚障害者が足裏の感覚や白杖で視覚障害者誘導用ブロック*を識別しづらくなる。(視覚障害者)
- ・バスが通る道路だが歩道がないため、車や自転車に注意しながら歩かないとならない。
- ・歩道を走る自転車が危険。歩行者と自転車を分離してほしい。



【幅員の狭い歩道】

【誘導・案内】

- ・視覚障害者誘導用ブロックがはがれたり破損していたりする箇所がある。補修してほしい。(視覚障害者)
- ・横断歩道に接する歩道には、視覚障害者に注意喚起と横断方向を示す視覚障害者誘導用ブロックを設置してほしい。(視覚障害者)
- ・公共施設の前面道路には、公共施設の出入口を示す視覚障害者誘導用ブロックを設置してほしい。(視覚障害者)
- ・バス停留所の位置を示す視覚障害者誘導用ブロックを設置してほしい。(視覚障害者)
- ・駅から主要な公共施設へ至る道路には視覚障害者誘導用ブロックを連続的に設置してほしい。(視覚障害者)
- ・公共施設を案内する案内板が設置されているが、文字が小さいなど、わかりにくい。
- ・公共施設を案内する案内板を設置してほしい。

【路上の障害物、その他】

- ・高さの低い車止めは、視覚障害者が白杖で確認できない場合があり、つまづく恐れがある。(視覚障害者)
- ・放置自転車や商品・看板等の路上へのはみ出しが歩行の妨げになっている箇所がある。
- ・聴覚障害者は自転車が接近してもわからないので、突然追い抜かれたりすると怖いと感じる。(聴覚障害者)

② 信号機等

- ・視覚障害者が安全に横断できるように音響式信号機*やエスコートゾーン*を設置してほしい。(視覚障害者)
- ・信号機の音響機能は、歩行者や車が少ない夜間ほど必要な場合があるため、運用時間の見直しや音量の調整、押しボタン操作の音響式信号機への変更などを行ってほしい。(視覚障害者)
- ・音響式信号機の音響用押しボタンから出ている音が周囲の他の音でかき消され、聞き取りにくい箇所がある。適切な音量に調整してほしい。(視覚障害者)
- ・エスコートゾーンが摩耗している箇所がある。補修してほしい。(視覚障害者)
- ・高齢者や障害者は歩行速度が遅いので、それを考慮して歩行者用青時間を確保するか、青延長用押しボタンの付いた信号機にしてほしい。



[エスコートゾーンが摩耗している]

(3) 公園

【園路】

- ・園路に段差があったり舗装が凸凹だったりすると車椅子使用者が通行しにくい。(車椅子使用者)
- ・舗装の凸凹している園路に視覚障害者誘導用ブロック*が敷設してあっても、視覚障害者は識別することができない。(視覚障害者)

【トイレ等】

- ・トイレの位置がわかりづらいので、案内板やサインで案内してほしい。
- ・スペースの広い多機能トイレ*には、大人用のおむつ替えのベッドを設置してほしい。(重度障害者)



[大人も使えるベッド]

(4) 建築物

【道路から施設までの通路】

- ・通路の表面が凸凹しているとおそれがある。また、雨に濡れても滑りにくくしてほしい。
- ・車椅子が通行できるように、通路の幅や勾配に配慮してほしい。(車椅子使用者)
- ・視覚障害者が施設の出入口まで安全に到達できるように、視覚障害者誘導用ブロック*を設置してほしい。(視覚障害者)
- ・視覚障害者誘導用ブロックが設置されているが、摩耗していて識別しにくいものがある。(視覚障害者)
- ・弱視者は視覚障害者誘導用ブロックを色で認識している場合もあるので、金属製のものは弱視者にとってわかりにくい場合がある。(視覚障害者)
- ・視覚障害者誘導用ブロックの近くに自転車や柵などがあると、視覚障害者がぶつかるおそれがあるので、排除してほしい。(視覚障害者)
- ・施設の出入口に視覚障害者のための誘導チャイムが設置されているが、音が出ていなかった。(視覚障害者)
- ・夜間などでも安全に通行できるように照明を設置してほしい。また、階段などには足元灯を設置してほしい。



【視覚障害者誘導用ブロック付近に自転車がとめられている】

【出入口・通路等】

- ・出入口は、車椅子がスムーズに通過できる幅を確保してほしい。(車椅子使用者)
- ・施設内の通路上に物(商品)や看板等が置いてあると車椅子の通行の妨げとなる。施設内の通路は、車椅子がスムーズに通行し転回できる幅やスペースを確保してほしい。(車椅子使用者)
- ・節電のためか照明の暗い施設があった。弱視者は、照明が暗くなることにより、確認できていたものが確認できなくなる。弱視者に支障がないように照明の明るさを確保してほしい。(視覚障害者)

【階段】

- ・古い施設では階段の勾配が急だった。
- ・階段の手すりは、片麻痺者等の利用に配慮して、階段の両側に設置してほしい。また、幅員の広い階段では、中央にも手すりを設置してほしい。(片麻痺の障害者)
- ・視覚障害者が階段の位置をわかるように、階段の上下端に接する通路等の部分に注意喚起のための点状ブロックを設置してほしい。(視覚障害者)

【エレベーター】

- ・2階建てで2階も車椅子使用者の利用が想定される施設だが、エレベーターがなかった。(車椅子使用者)
- ・視覚障害者がエレベーターの到着や昇降方向、ドアの開閉等がわかるように、エレベーターに音声案内を付けてほしい。(視覚障害者)
- ・エレベーターには、緊急時に聴覚障害者が外部と連絡が取れるように、ドアにガラス窓を設けるか、かご内にカメラやモニター等の設備を設置してほしい。(聴覚障害者)

【トイレ】

- ・多機能トイレ*がない施設がある。また、多機能トイレがあっても電動車椅子など大型の車椅子では転回しにくいなど、スペースが狭いトイレがある。(車椅子使用者)
- ・多機能トイレの引き戸が重く、車椅子使用者がなかなか開けられなかった。できれば自動ドアにしてほしい。(車椅子使用者)
- ・多機能トイレにオストメイト*のための水洗器具が設置されていなかった。(内部障害者)
- ・大型ベッドが設置されている多機能トイレがあった。(重度障害者)
- ・トイレの洗浄ボタンの形や配置が統一されていないので、視覚障害者はボタンを探すのに苦労する。呼出しボタンと間違えて押してしまうこともある。洗浄ボタンや呼出しボタンには、視覚障害者が区別できるように点字を付けてほしい。(視覚障害者)
- ・トイレの戸が内開きの場合、利用者がトイレ内で倒れたときに、倒れた利用者の体で戸を開けることができず、救出できないおそれがある。また、外開きの場合、聴覚障害者はトイレ内の様子がわからず、開く戸にぶつかるおそれがある。そのため、一般トイレの戸も引き戸が安心である。
- ・トイレ内に杖を立てかけられるフックや杖ホルダーがあると便利である。(杖使用者、視覚障害者)
- ・災害時等に避難所になる公共施設には、多機能トイレを設置してほしい。

【誘導・案内】

- ・視覚障害者誘導用ブロック*は、施設の出入口から受付や案内カウンターまで設置してほしい。また、1階に受付等がない施設については、エレベーターの前まで設置してほしい。(視覚障害者)
- ・視覚障害者誘導用ブロックの上に玄関マットや絨毯が敷かれている施設があった。(視覚障害者)
- ・トイレやエレベーターの位置を示す案内表示は、大きく、見やすい位置に設置してほしい。また、文字より絵の方がわかりやすいので、ピクトグラム(図記号)で表

示してほしい。

- ・聴覚障害者は非常時のベルや放送がわからないため、文字表示やランプの点滅等で知らせてほしい。(聴覚障害者)

【受付・案内カウンター等】

- ・受付や案内カウンターに聴覚障害者の筆談対応を示す「耳マーク」が設置されている施設があったが、その表示が見えにくく、気づかないものもあった。(聴覚障害者)
- ・聴覚障害者には、筆談による会話が苦手な人もいるので、手話での対応もできるようにしてほしい。(聴覚障害者)



【耳マークと筆談ボード】

- ・視覚障害者がスーパー等で買い物をしやすいように、売り場の案内やレジでの商品や値段の読み上げなど対応してほしい。(視覚障害者)
- ・銀行や病院では派遣手話通訳を利用するが、プライバシーが気になる。銀行や病院には専門の手話通訳を用意してほしい。(聴覚障害者)

(5) その他

- ・バリアがあっても周囲の人が手を差し伸べることが重要である。ヘルプカードの周知や小学生の頃から知る機会を設けるなど、高齢者や障害者への理解を深める取り組みも必要である。
- ・障害者に同伴している介助者に向かって話しかける駅員や店員がいる。
- ・歩道を自転車がスピードを出して走っているため、視覚障害者や聴覚障害者は怖い思いをすることがある。自転車のルールとマナーの徹底が必要だと思う。
- ・中野駅北口が整備されバス停留所の位置がわからなくなってしまった。工事や工事後の状況について視覚障害者に対し事前に知らせてほしい。
- ・視覚障害者誘導用ブロック*やエレベーター等を整備する際には、整備の前後に障害者の意見を聞いてほしい。